

(1)

## 三股町の人口

8月	1日	現在	6,943人
男女			7,773人
計			14,716人
世帯数			3,694戸

# 広報みまた

'66.9

No. 37

発行 三股町  
編集 総務課

## 秋色

しよう。

さて私達にとつて一番大切な事は、先ず暑さでいためつけられた体力を回復することです。涼風と共に新鮮でおいしい果物や野菜がどつと出回り、又魚類もおいしくなってまいります。たっぷり召しあがって夏のつかれを一日も早くとりもどすことがかんじんでしょう。

- ①子供のキャンプや登山などの屋外活動には必ず学校の許可を得て、保護者が付添つていくこと。
- ②増水期には魚取り、水泳などさせないこと。
- ③懐中電灯、ローソクなど台風時には
- ④三日分ぐらいいの食糧、水、薬品の準備をする。
- ⑤貴重品などいつでも持ち出せるようにしておく。
- ⑥小さな子供には名札をつけておくこと。

①危険地域にある家の老人子供、病人はあらかじめ

### 悲劇 はごめんだ 人災をなくしよう

青井岳キャンプ場の惨事  
北川村のがけくずれ、私達のごく身边にも聞くに堪えられない悲劇がひん発しております。しかしれも備えあればとくやしがらせます。そして一瞬にして家

人災の声も大きいようで  
9月の声を聞く  
と、暑さもようやく峠をこえて、又日足もぐつと短かくなります。空の色も澄んで、草木たちずまい、或いは朝夕の涼氣など、さすがに秋を感じさせます。暑さ寒さも彼岸までのことをわざとおり、秋分を過ぎるころになるとさらさらと吹く風のにおいも一段と身にしみて、秋色は愈々深まることで

よる年とともに、どうも肩がこるとか、腰が痛むとか、胃腸の具合が悪い、或いは神経痛になやまされるなど、身体の調子がはかばかしくないなどと、よく耳にいたしますが、そんな時にいたしますが、そんな時温泉保養するのも又一つの施設事業として、六五才以上のおとしよりを対象として、その健康増進の為に、

施設事業として、六五才以上のおとしよりを対象として、その健康増進の為に、保険による温泉保養の制度を設けております。

どこか身体の調子が悪く

帰る時、利用証明書をもらつてくれれば、それで結構です。

今後愈々この制度の内容充実をはかつていこうといふ考え方ですが、ただ今のところ、三股町の国保が、温泉へ支払う料金は、日帰りの場合、一日八〇円で五〇〇円まで、宿泊の場合は一泊一〇〇円とし最高七〇円までとなっております。

契約している指定温泉は次のとおりですので、どうぞ御利用下さい。

山仲温泉、湯之元温泉、太郎温泉、阿母ヶ平温泉、安楽温泉組合、隼人温泉、妙見温泉、折橋館、せんらぎ温泉。

ないよう心をくぱりたい

ものです。

その心構えとして



